

日産車体株式会社  
**個人投資家向け会社説明資料**

日本のモノづくりを世界へ

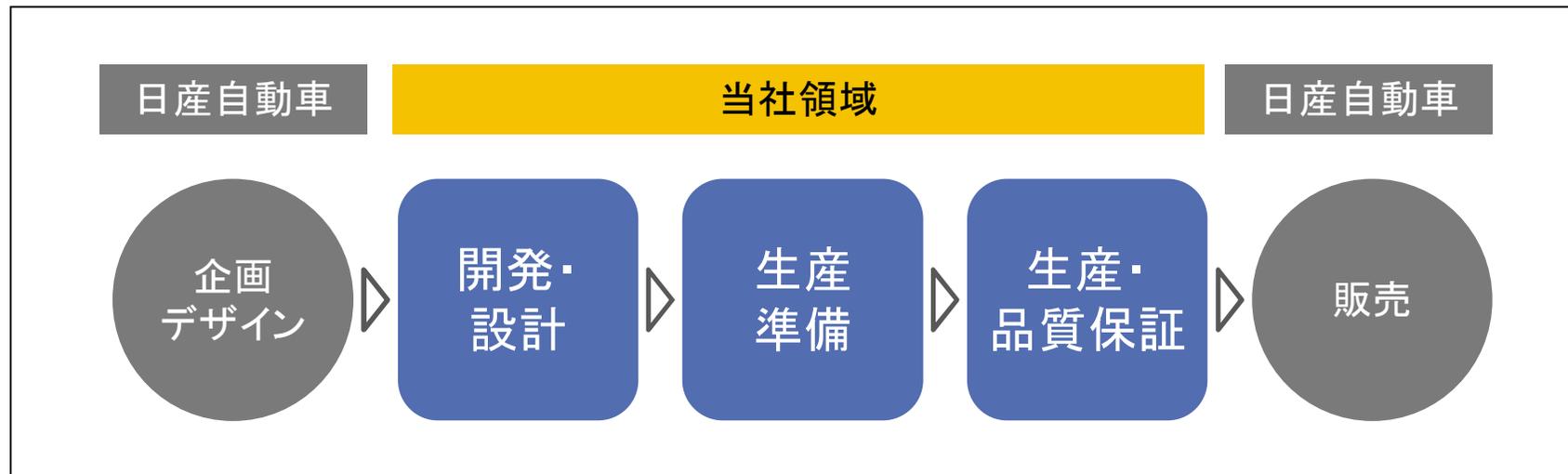


2017年11月

# Outline



日産車体は、  
開発から生産までを担う完成車メーカーです



日産グループの中で「LCV・フレーム車」の分野を中心に、  
グローバルに活躍する完成車メーカーとして事業を展開しています

LCV: Light Commercial Vehicleの略。小型商用車

フレーム車:トラックやバスに採用される頑丈な梯子フレームにパワートレーンなど走行機能搭載し、その上にキャabinを搭載する構造の車。当社製品:大型SUVのパトロール、インフィニティQX80,小型トラックのパトロールピックアップ、アトラスF24、マイクロバスのシビリアン

グループのご紹介

# 日産車体グループ



## 湘南工場と日産車体九州の2つの生産拠点が主軸です

	日産車体(株)	日産車体九州(株)
設立	1949年	2007年
事業内容	各種自動車の開発から 品質保証まで	自動車および その部分品の製造・販売
従業員数	1,823名	1,106名
生産拠点	神奈川県平塚市	福岡県苅田町

(2017年3月31日現在)

湘南工場



日産車体九州工場



### グループ会社

#### 日産車体マニュファクチャリング株式会社

- ▶ 日産車体のプレス部品の製造

#### 日産車体エンジニアリング株式会社

- ▶ 日産車体および日産車体九州の設備保全と物流



- ▶ マイクロバスとトラックの製造と特装車の架装

#### 日産車体コンピュータサービス株式会社

- ▶ 情報システム構築、ネットワーク構築などのIT関連サービス



- ▶ 人材派遣から職業・人材紹介および各種アウトソーシング

グループのご紹介

# 沿革



2010年に日産車体九州の新工場が稼働開始。  
2013年には湘南地区で新しい車両生産体制を開始。

▶ 高級ブランド「インフィニティ」を生産  
(日産車体九州)



▶ LCVでグローバル展開をリード



▶ ミニバンで現在の基礎を構築



▶ 日産車体のルーツを作ったフェアレディZ



年月	社歴
2015年	日産の新世代タクシー「NV200タクシー(M20)」(国内向け)生産開始
2012年	湘南工場第1地区での車両生産を終了、湘南工場第4地区での車両生産を第2地区へ集約、湘南工場の車両生産体制の再編を完了
2011年	当社が開発した「NV200」がニューヨーク市の次世代タクシーに選定
2010年	日産車体九州稼働開始
2007年	子会社「日産車体九州株式会社」設立 生産累計1,500万台達成
1992年	生産累計1,000万台達成
1969年	フェアレディZ生産開始
1951年	日産自動車(株)と提携
1949年	当社前身 新日国工業(株)設立

グループのご紹介

# 主な生産車



## 湘南工場



**NV200**  
MANIFESTO  
NV200 バネット



**NV150**  
AD



**WINGROAD**  
ウイングロード



**NV200**  
NV200 タクシー



**PATROL**  
パトロール:Y61



**ARMADA**  
アルマーダ



**PATROL PICKUP**  
パトロール ピックアップ

## 日産車体九州



**Infiniti QX80**  
インフィニティ QX80



**PATROL**  
パトロール:Y62



**ARMADA**  
アルマーダ



**ELGRAND**  
エルグランド



**QUEST**  
クエスト



**NV350**  
CARAVAN  
NV350 キャラバン

## オートワークス京都



**CIVILIAN**  
シビリアン



**ATLAS**  
アトラスF24

グループのご紹介

# 特長



## 完成車メーカーとしてのDNAを活かした、 多くの特長を持っています

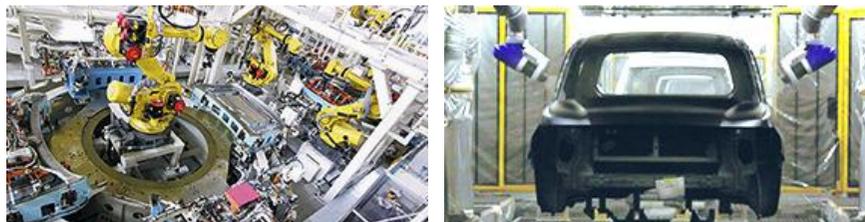
■ LCVを中心とした多車種少量生産の一大拠点(湘南工場)



▶ モノコック車

▶ フレーム車

■ 2010年に稼動開始した日産グループの国内“最新鋭工場”  
(日産車体九州)



▶ ローラーヘミングによるエンジン  
フードの生産

▶ 新塗装技術

■ LCVで海外展開事業の基盤を強化



■ グループ内での一貫生産により、  
高品質な特別仕様車をスピーディに提供



# 2017年度第2四半期 連結決算概況

---

<累計>

2017年度 第2四半期 決算 <累計>

# 決算サマリー



中近東向け「パトロール(Y61)(Y62)」等の減少があったものの、北米向け「アルマーダ」、「インフィニティQX80」の増加などにより、売上台数、売上高、営業利益とも前年同期を上回る。親会社株主に帰属する四半期純利益は「リコール関連費用」45億円を計上したことなどにより、2億円の損失計上となる。

## 売上台数

商用車、小型バスでは台数が減少したものの、乗用車の台数が大幅に増加したことで、前年同期比10.4%増の112千台

## 売上高

売上台数増により、前年同期比20.2%増の2,906億円

## 営業利益

売上高の増加及びコスト改善により、前年同期比44.3%増の40億円

## 親会社株主に帰属する四半期純利益

売上高、営業利益は増収増益となったものの「リコール関連費用」の計上により、2億円の損失計上

2017年度 第2四半期 決算 <累計>

# 業績ハイライト



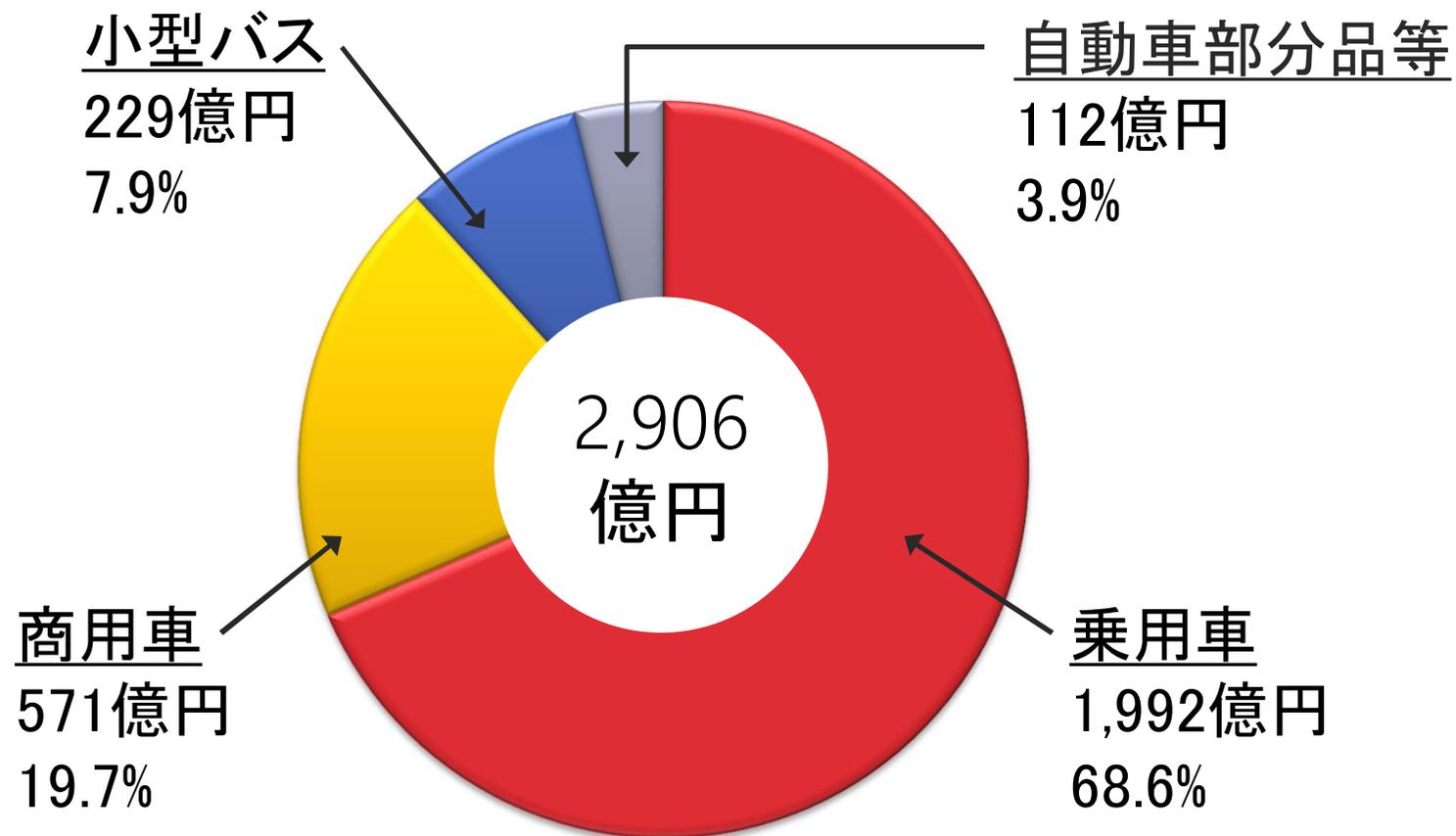
	2016年度 第2四半期 (2016/4~9)	2017年度 第2四半期 (2017/4~9)	増減額(率)		通期計画
売上高	2,418	2,906	488	20.2%	6,400
営業利益	28	40	12	44.3%	125
経常利益	30	43	12	40.6%	131
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (損失)	13	▲2	▲16	-	54

※ 2017年11月8日に今期計画見通しを修正いたしました。

単位:億円

2017年度 第2四半期 決算 <累計>

# 品目別売上高構成比

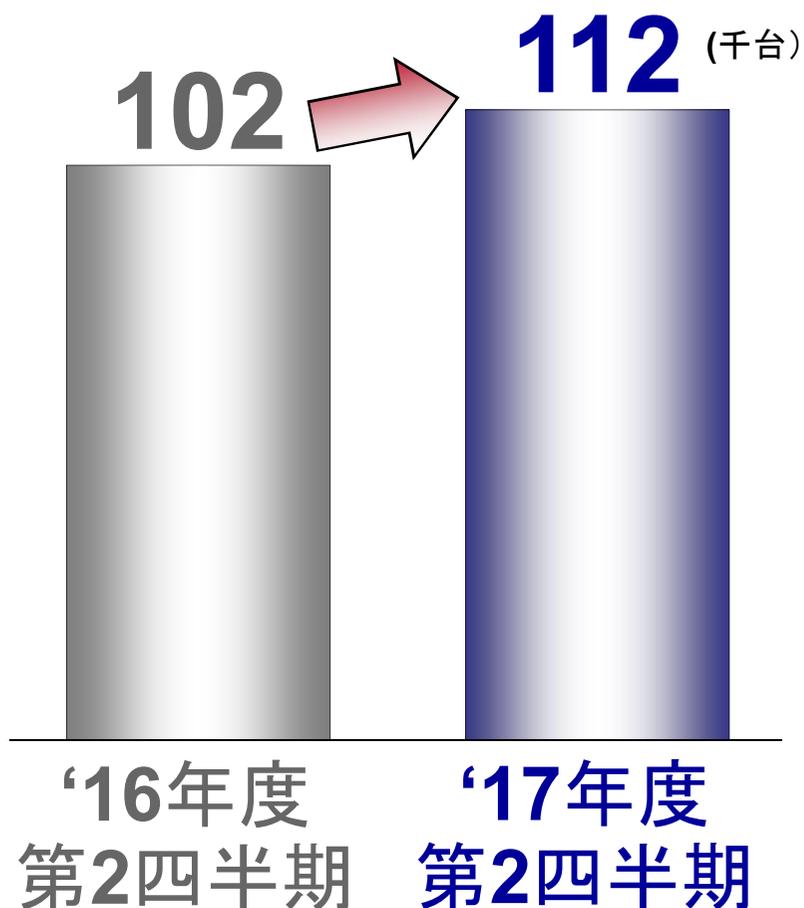


2017年度 第2四半期 決算 <累計>

# 売上台数



売上台数は前期比10.4%増の112千台



(千台)

	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	48	63	32.7%
商用車	41	38	▲8.6%
小型バス	13	12	▲10.2%
合計	102	112	10.4%

2017年度 第2四半期 決算 <累計>

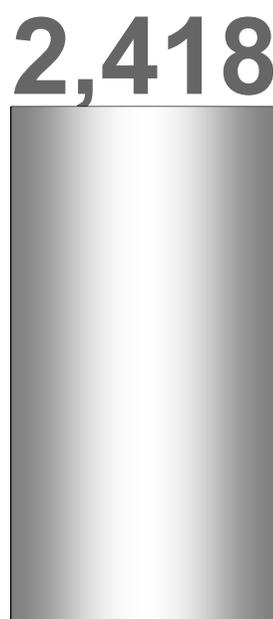
# 売上高



売上高は前年同期比20.2%増の2,906億円

(億円)

2,418 → **2,906**



'16年度  
第2四半期

'17年度  
第2四半期

ARMADA  
アルマーダ



Infiniti QX80  
インフィニティ QX80



2017年度 第2四半期 決算 <累計>

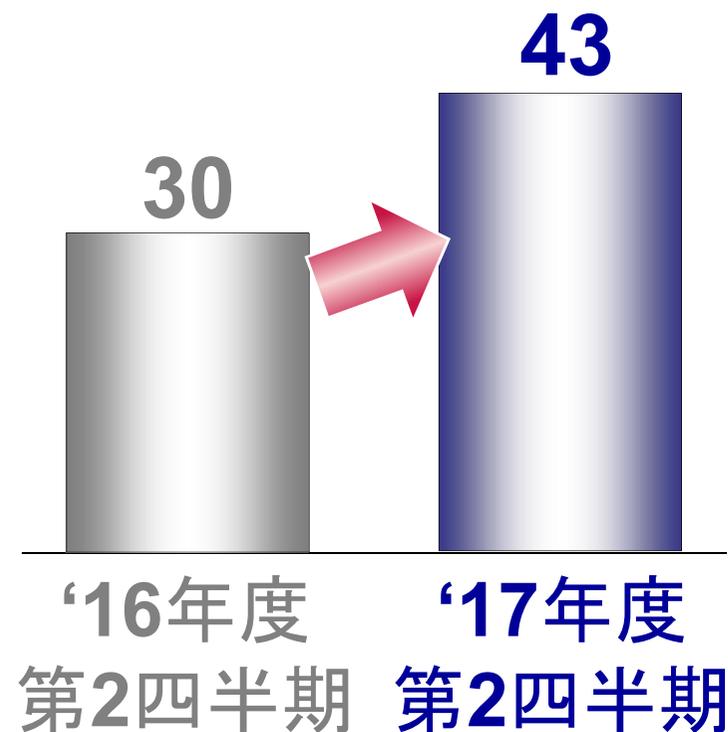
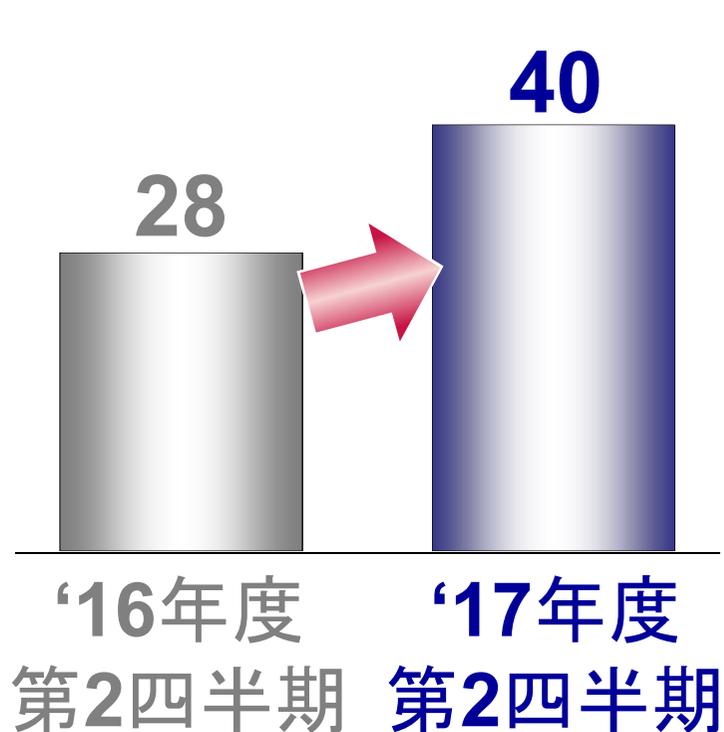
# 営業利益／経常利益



営業利益/経常利益とも前年同期を大幅に上回る

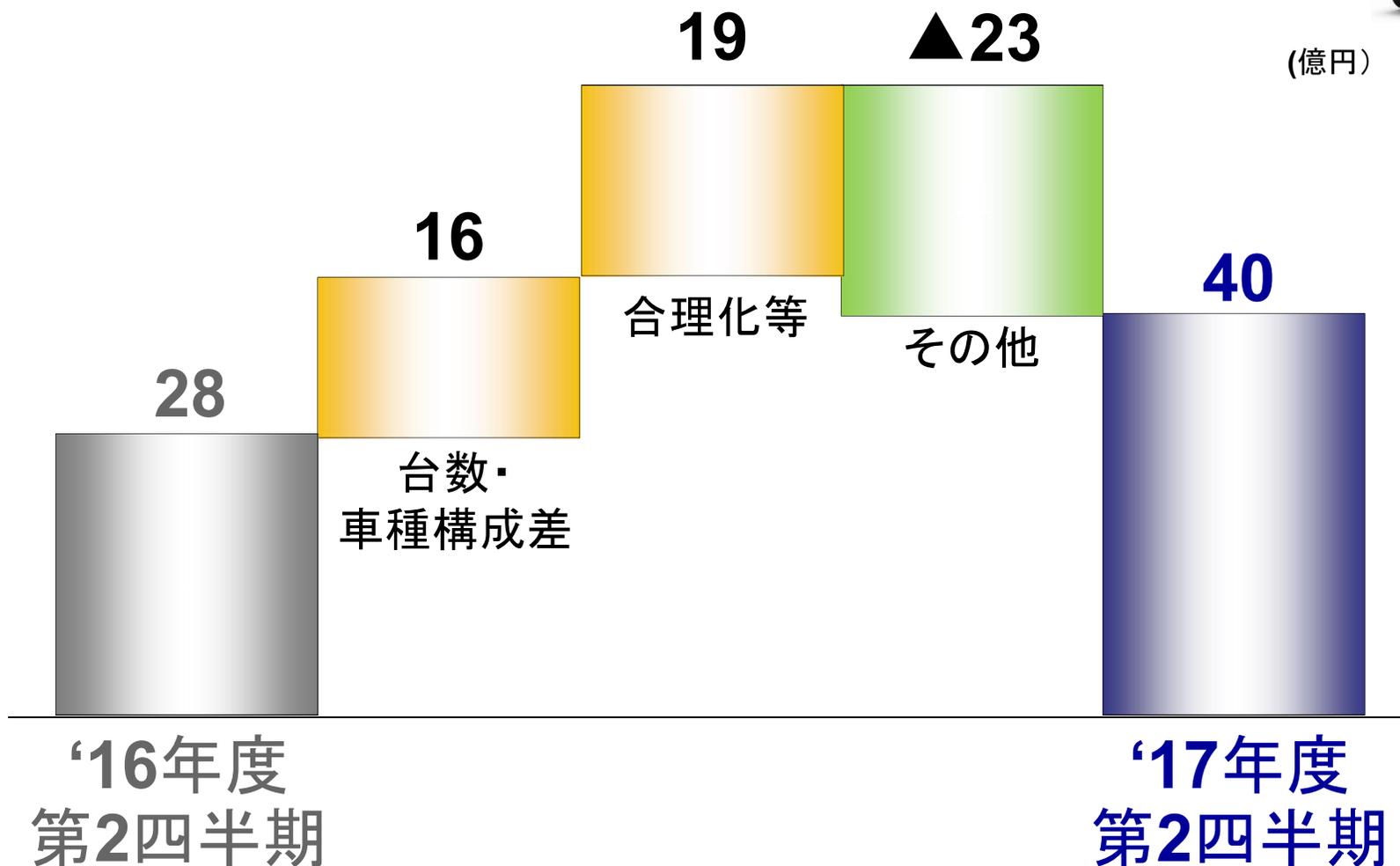
営業利益 (億円)

経常利益 (億円)



2017年度 第2四半期 決算 <累計>

# 営業利益の増減要因

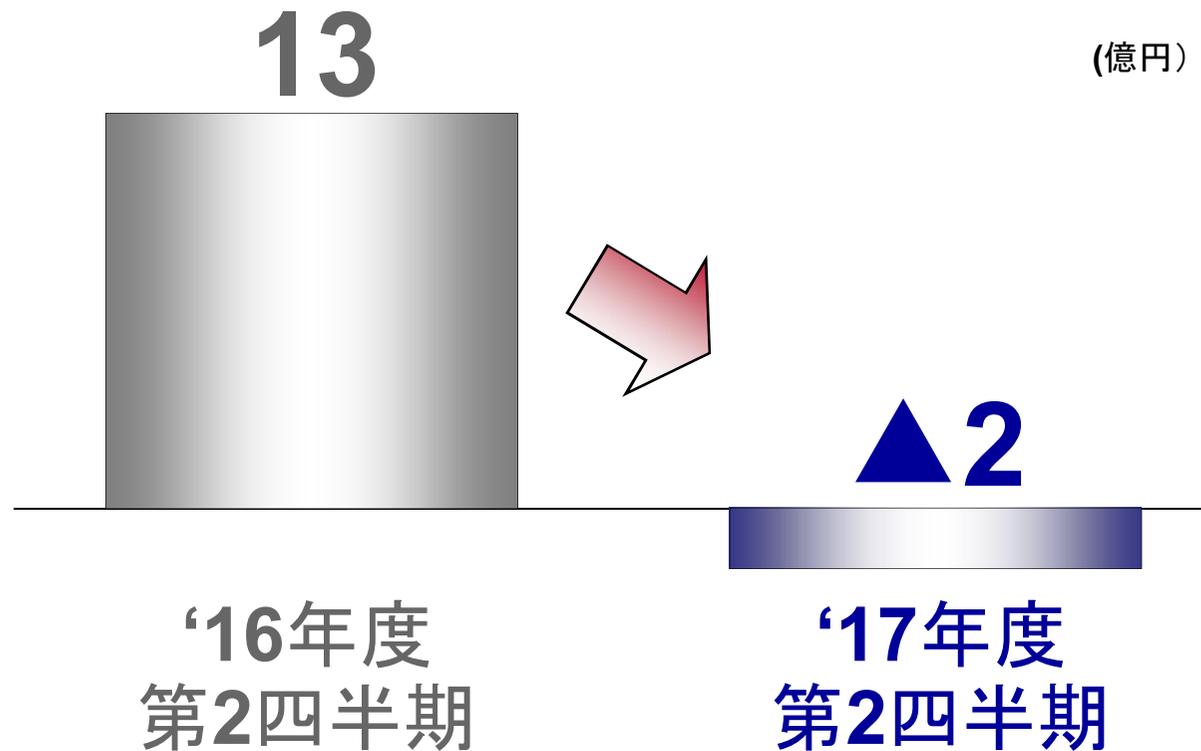


2017年度 第2四半期 決算 <累計>

## 親会社株主に帰属する四半期純利益



現在入手可能な事実と状況に基づき「リコール関連費用」45億円を特別損失に計上した結果、2億円の親会社株主に帰属する四半期純損失を計上（最終的な「リコール関連費用」は、日産自動車（株）との協議を経て確定する予定です）



2017年度 1株当たり配当金

# 株主還元



持続的成長に向け、継続的な安定配当を実施

